

1年進路だより

平成30年10月発行 No.2

入学してから半年が過ぎて、高校生の生活リズムを確立できていますか？勉強に部活、学校行事など忙しい日々を送っている人も少なくないようです。あれもこれも、と一気にやろうとすると全てが中途半端になってしまいます。まず、これはしっかりやれる、という柱をたてましょう。もちろん、最初の柱にするのは勉強ですね。

模試の結果が出ました

さて、みなさんは4月からスタディーサポートを2回、進研模試を1回受けています。今回は学年全体の様子や、先輩たちが1年生だったときと比較してどうなのかをデータで見てください。ちなみにスタサポは基礎力を、進研模試は応用力を測るテストです。

入学時は基礎力不足。しかし1学期を通して実力アップ 第1回スタサポ

スタサポの結果を比較すると、入学時は例年より3教科合計と国語のGTZが低いという結果が出ました。千葉県の高校生は、入学時は学力が高いが、そこから下がるという傾向がある（実際、昨年度は第2回の方が低い）ので心配したのですが、第2回の結果は3教科合計が維持で、国語は1段階上昇という結果が出ました。この時期で成績が上がるのはあまり例がないそうです。みなさんの頑張りが成果に現れましたね。英語もあと少しで上のゾーンに入るようなので、この調子で頑張りましょう。数学は少し努力が必要ですね。

	今年度	昨年度
3教科	B1	A3
国語	B2	B1
数学	A3	B1
英語	B1	B1

第2回スタサポ

	今年度	昨年度
3教科	B1	B1
国語	B1	B2
数学	B2	B2
英語	B1	B1

ところが勉強時間は低下

成績面では良い結果が見られましたが、学習習慣については課題が見られます。まず1番の課題は勉強時間の少なさ。成績は伸びていましたが、勉強時間は大きく減少しています。これではせっかく伸びた成績が下がってしまうことになりかねません。4月から言い続けていますが、毎日1時間の勉強習慣をつけましょう。参考までに、千葉大に受かる人たちはこの時期で平均87分勉強しているようです。

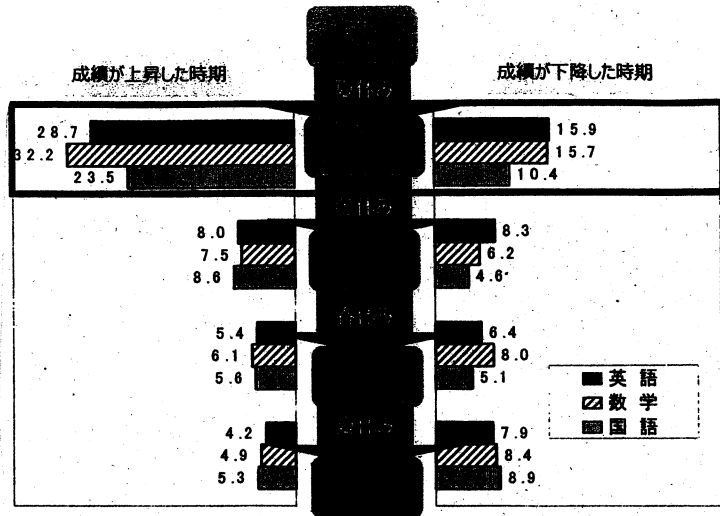
平日勉強時間

	今年度	昨年度
第1回	84分	80分
第2回	39分	44分

また、アンケート結果を見ると成績を伸ばしたいという意欲が高い一方で、成績の伸ばし方、勉強の仕方がわからず悩んでいる人が多いようです。一人で悩まず、教科担当の先生に相談してみましょう。

高1の秋が重要な時期

右のグラフは進研模試の成績が変動した時期をグラフ化したものです。2年11月の模試まで通してもっとも成績の変動が大きかったのが1年の11月です。つまり、成績を上げるも下げるもこの高1の秋の過ごし方で決まるといってもいいでしょう。また、この秋で学習時間が増加した生徒は、その後も増加



し続けるというデータもありますので、今が学習習慣を見直す絶好の機会です。しっかり勉強をして、1月の進研模試で結果を出せるよう頑張りましょう。

偏差値は努力の指標

中学で受ける模試は、いろいろな学力層の人が受けるので多少の頑張りで平均以上をとれます。しかし、高校で模試を受ける層は、勉強に対して意欲がある人が進学に向けて受けるわけですから、当然平均の水準が上がります。すると多少の努力では平均をとることも難しくなるわけです。県内のトップ校にも今回の模試で偏差値40台をとっている人がいますから、高校に入ってから努力をしなければ簡単に落ちるということです。逆に言えば頑張れば上位の学校に追いつくことも可能です。

高校だけでなく大学でもそうですが、どの学校に入ったかではなく、その学校で何をしたかです。今自分ができる全力を出してみましょう。